

第59回 経営協議会 議事要録

日 時 平成29年1月26日（木） 13時30分～15時10分

場 所 事務局第二会議室

出席者 澤 和樹 学長、門岡裕一 理事
日比野克彦 美術学部長
桐山孝司 大学院映像研究科長

石田義雄 委員、中村胤夫 委員、遠山敦子 委員
福井俊彦 委員、高階秀爾 委員、滝 久雄 委員

陪 席 監事：金井 満 監事

安良岡章夫 理事、保科豊巳 理事
光井 渉 副学長、松下 功 副学長
熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長
宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命（産学連携担当）]
三田村有純 グローバルサポートセンター長 [学長特命（国際交流担当及び留学生担当）]
佐野 靖 学長特命（地域連携・大学連携担当）
岡本美津子 学長特命（広報・ダイバーシティ推進担当）
北郷 悟 学長特別補佐（上野文化の杜担当）
橘 芳久 学長特別補佐（機能強化担当）
松下 計 附属図書館長、秋元雄史 大学美術館長

欠席者 谷口維紹 委員
国谷裕子 理事、迫 昭嘉 音楽学部長
梅崎 壽 監事

議題

1. 第3期中期計画の変更について（案）
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成28年度補正予算編成について（案）
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 授業料改定に向けた検討の方向性について（案）
議長から標記のことについて提案があり、門岡理事から資料に基づき説明の後、各委員との意見交換を行った上で、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

1. 平成29年度国立大学法人運営費交付金の概要等について
門岡理事より、資料に基づき報告があった。
2. 平成29年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果について
門岡理事より、資料に基づき報告があった。

3. 平成28年度国立大学改革強化推進補助金（総合支援型）の選定について
門岡理事より、資料に基づき報告があった。
4. 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について
門岡理事より、資料に基づき報告があった。
5. 平成29年度経営協議会開催日程について
門岡理事より、資料に基づき報告があった。
6. その他（本学の取組について）
 - 澤学長から、藝術文化における本学の近況について報告があった。
（イベント等）
 - ・ 2016.11.17：伊那市白鳥市長と澤学長によるタカトオコヒガンザクラの植樹
（早期教育プロジェクト）
 - ・ 2017.1.7～8：早期教育プロジェクト in 上野
 - ・ 2017.1.14～15：早期教育プロジェクト in 北九州
 - ・ 2017.1.14～15：早期教育プロジェクト in 秋田
 - （要人来学実績他）
 - ・ 2016.10.26：高円宮妃久子様が大学美術館「驚きの明治工藝」展をご観覧
（その他）
 - ・ 2016.10.31：土屋前文部科学事務次官、小豆畑日立製作所フェローらがCOI拠点、音楽学部及び美術学部を視察
 - ・ 2016.11.14～11.23：大学美術館 宮田亮平展覧会「喜怒哀藝」への要人来学
 - ・ 2016.12.8：水落文部科学副大臣がCOI拠点を視察。
 - ・ 2016.12.15：文化伝統調査会・成長戦略のための人材教育部会が合同上野視察として、上野一帯の国立美術館及び博物館を視察
- 日比野美術学部長より、グローバルアートプラクティス GAP 専攻グローバルアート共同カリキュラム課題発表のご案内を行った。
- 澤学長より、滝委員より多大なるご寄附をいただいた旨報告があった。
- 松下附属図書館長より、クラウド・ファンディングにより「巨匠の響きよ永遠に！藝大に遺されたレコード2万枚の危機を救う」の報告があった。
- 秋元大学美術館長から、「雪村」についての報告があった。
- 桐山大学院映像研究科長から、「映像専攻修了展」についての報告があった。
- 日比野美術学部長から、「卒業・修了作品展」についての報告があった。

その他：（各外部委員の先生方からのご助言、ご提言等）

- 入学定員について、現在の定員で良いかも含めて一度ご議論をお願いしたい。
文部科学省の業務実績評価について一定程度の評価を得たことは良いこと。
他大学にはない特殊性を武器にして引き続き発信していくことについて努力して欲しい。
- 先般、国際芸術創造研究科の新聞記事を拝見し非常に興味深い内容であった。
このような取り組みはあまり知られていないので、より一層社会へ発信していただきたい。
- 日中韓のアートに関する取り組みや様々な予算を獲得していることについて感心している。また、法人評価で「特筆される取組」のトップとして紹介された壁画復元プロジェクトについては、国際的な意味や歴史上文化財という、空間と時間について非常に価値のあるものと評価している。
- 大学評価について、藝大の独自性が認められ比較的高い評価を得ていることに

安心した。

また、新しい施設を使って新しい教育的価値を生み出せるかという評価もあるので、こちらの側面も検討いただきたい。

- 今後の 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、大学美術館での開館時間（17時まで）に関して夜間開館等について今後検討していただきたい。
- 2020 東京オリンピック・パラリンピックについてはその先50年の日本の形を決めるものであり、上野の杜構想は非常に重要。また 2020 年に向けて上野周辺はJR・東京メトロ等アクセスの改善に取り組まれているが、藝大としても上野全体で様々なイベントを今後も昼夜問わず開催していただくようお願いしたい。